

【症例4】 50歳代 男性，耳下腺

画像所見：MRIで左耳下腺浅葉を主座とする，35mm大の境界明瞭な腫瘍を認めた。腫瘍内部は均一で，細胞密度の高い腫瘍が疑われた。また，内深頸領域に多数の腫大リンパ節を認めた。

臨床情報：喫煙歴なし。2週間ほど前より耳下部腫瘍を自覚。
同部位に対し，精査目的に穿刺吸引細胞診が施行された。
なお穿刺時点で，フローサイトメトリーは未施行。

標本作製法：直接塗抹

【症例4】 第一選択肢 推定鑑別診断

1. 鑑別困難
2. 反応性リンパ過形成
3. リンパ腺腫
4. ワルチン腫瘍
5. 低悪性度 悪性リンパ腫

【症例4】 第二選択肢 ミラノシステム診断区分

1. 不適正
2. 非腫瘍性
3. 意義不明な異型 (AUS)
4. 良性腫瘍
5. 良悪性不明な腫瘍 (SUMP)
6. 悪性の疑い
7. 悪性

【症例5】 70歳代 女性，顎下腺

画像所見：MRIで右顎下腺部に24mm大の充実性腫瘤を認めた。
超音波では腫瘤の形状は不整で，顎下腺外部に突出する
所見を認めた。

臨床情報：2-3年前より頸部に小豆大の腫瘤を認め，経過観察中。
1-2ヶ月前から徐々に増大傾向のため，穿刺吸引細胞診が
施行された。

標本作製法：直接塗抹

【症例5】 第一選択肢 推定鑑別診断

1. 富細胞性多形腺腫
2. 基底細胞腺腫／腺癌
3. 腺様嚢胞癌
4. 上皮筋上皮癌
5. 富細胞性類基底細胞腫瘍

【症例5】 第二選択肢 ミラノシステム診断区分

1. 不適正
2. 非腫瘍性
3. 意義不明な異型 (AUS)
4. 良性腫瘍
5. 良悪性不明な腫瘍 (SUMP)
6. 悪性の疑い
7. 悪性

【症例6】 70歳代 男性，舌下腺

画像所見：MRIで左舌下腺部に40mm大の嚢胞性病変を認めた。
超音波では腫瘍内部は不均一で，嚢胞域や小さなストロング
エコーを認めた。また，腫瘍内部に豊富な血流シグナルを認めた。

臨床情報：自覚症状なし。肺腫瘍精査中，PET-CTで左舌下腺領域に
異常集積が偶発的に認められ，穿刺吸引細胞診が施行された。

標本作製法：直接塗抹

【症例6】 第一選択肢 推定鑑別診断

1. 粘液性嚢胞腺腫
2. 粘表皮癌
3. 分泌癌
4. 腺癌NOS*
5. 肺腺癌の転移

*腺癌NOS : Adenocarcinoma, not otherwise specified (WHO 4th)

【症例6】 第二選択肢 ミラノシステム診断区分

1. 不適正
2. 非腫瘍性
3. 意義不明な異型 (AUS)
4. 良性腫瘍
5. 良悪性不明な腫瘍 (SUMP)
6. 悪性の疑い
7. 悪性